

ようにジャガイモの消費は増加傾向にあり、これは近年米のみに頼っていた食生活が多様化してきており、栄養価の高いジャガイモなど野菜が見直されるようになったと考えられる。また、ジャガイモは野菜栽培地帯ではもっとも経済的に有利な作物となっているようである。

生産されたジャガイモの生鮮物としての流通は、大農家は農家自身が、通常の農家はおそらく仲買人が集荷し、消費地へ運ぶ。消費地では市場取引が行われており、他の野菜類と同様に1～2日後には小売店には陳列されているようである。値段としては他の野菜に比べて安くはない。

加工品としては通常のマーケットにはフレンチフライ、チップが出回っているが、前者はほとんど全量輸入品であり、後者は国内生産のものが出回っている。しかし、チップと

してはむしろキャッサバを原料にしたものが多い。

インドネシアとしては農家の収入を確保する上から農村工業の振興を奨励しており、ジャガイモではチップ等の加工品の増産を期待しているが、現状では加工用の品種も選定していない状況である。しかし、アメリカのファーストフード店の進出もあり、国内産のジャガイモの加工用としての需要は期待できるものと考えられる。また、インドネシア特有の食べ物であるコロッケ様のPerkedel（煮てつぶしたもの、マッシュのフライ）への利用はすべて国産を用いている。

インドネシアでは種芋は輸入（200～400 t）しているが、一方、シンガポールなどへ生産物を輸出している。輸出量は1989年約71,000 tである。この量は今後増加が期待されている。

◎高野長英の人相

1830年代の天保飢饉の際、ジャガイモの栽培を奨励し、『救荒二物考』という本を書きジャガイモとソバの重要性を説いた高野長英は有名です。

ここに新たに紹介するのは省くとして、彼の人相を紹介しましょう。彼は幕府の政治を批判したかどで投獄されました。しかし、脱獄したため、全国に人相書が配られました。

曰く、

- 1. 丈高く、太り候方
- 1. 面長にて 角張り候方
- 1. 色白く 眉薄し
- 1. 鼻大きく 高き方
- 1. 眼の外にそばかす少し有り

似た方が、貴方の近くにおりませんか？

◎ケチな男

ケチな男とその妻の会話

妻『貴方、今日はどうしてジャガイモを全部食べないの』

男『これまで、俺の予感によく当たった。これから、車で出かけるが、途中で交通事故に遭いそうだ。だから、それまでに消化できる分以

上のジャガイモを食べても損するからな』

◎ビフテキ

ある親父が息子に言い聞かせた。

『よその人に毎日いもばかり食べていると言っ
んじゃないよ、はずかしいから。ビフテキと言っ
ておけよ』

その後、連れだって八百屋の前を通ることが
あったので、息子が言った。

『あの店にいろんなビフテキがあるね。泥のつ
いたの、赤いの、白いの』

◎農民と消費者

農 民『ジャガイモ1個つくるのには、約半年
もかかるのです』

消費者『それは、ご苦労様です。1年に2個し
かつくれないのですか』

◎落書きより

下の例のカッコ内は後から別の人が追加した
落書きの部分です。

「飲んで運転するな」

（こぼすから）

「ミック・ジャガー大好き」

（でも、ロールキャベツのほうがもっと好きヨ）

＜ミック・ジャガー：ローリングストーンのボーカ
ルメンバー＞ （浅間和夫）